

平成 25 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立勝山学校 学校協議会

1. 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。

3つの視点を軸に、学校が計画的に話し合いを重ね、目標達成に向けて地道な取り組みを進めてきたことも説明を聞いてよく分かった。また、児童・保護者のアンケート結果からも、学力向上や道德心の育成において成果を上げ、なおかつ、保護者の評価を得ることができていることがよくわかった。

中期目標の達成に向けてさらに取り組みを進めていただくとともに、学校選択制や土曜授業等の新規の取り組みについても学校としての力を発揮していただきたい。

2. 年度目標ごとの評価

年度目標：学力の向上

- ① 本年度の学習理解度到達診断における全体の正答率をどの学年も昨年度より向上させる。
(カリキュラム改革関連)
- ② 本年度の児童アンケートにおける「自分の考えを発表することはすきです。」と答える児童の割合をどの学年も昨年度より向上させる。
(カリキュラム改革関連)
- ③ 本年度の保護者へのアンケートにおける「学校は子どもの学力を高めようと努力している」項目で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を昨年度より向上させる。
(マネジメント改革関連)

○ 達成状況の評価に関しては概ね妥当である。

学校が指導法の工夫を進め、児童一人一人の学力向上に努めていることがよくわかった。アンケートの分析も、学力向上に関する成果と課題が明確であった。また、読書の習慣を身に付けることは大切なので、今後も取り組みを続けてほしい。同時に、道德教育は時節的にも大切な教育である。全学年の公開授業を参観したが、さらに学校としての取り組みを進めてほしい。

次年度への改善点については、学校として、教育を進める上必要な事項であると協議会としても同意見である。ぜひ、地道に取り組みを進めてほしい。

年度目標：道德心・社会性の育成

- ① 本年度の学校生活アンケート調査で、「なかのよい友達がいいますか。」の項目について、「はい」と解答する児童の割合を 90%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ② 本年度の学校生活アンケート調査で、「あいさつはしっかりしていますか。」「学校のきまりをよく守っていますか。」の項目について、「はい」と解答する児童の割合を平成 24 年度より 2 ポイント以上増加させる。
(カリキュラム改革関連)
- ③ 本年度の学校生活アンケート調査で、「知らない人に声をかけられたらどうしたらよいか知っていますか。」の項目について、「はい」と解答する児童の割合を全学年 90%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

○ 達成状況の評価に関しては概ね妥当である。

「なかのよい友達がいる」児童が90%以上を達成できたのは評価できる。しかし、「あいさつ」が学校ではできていても、集団登校の集合場所等でできていないと感じる。「きまりを守る」については、捉え方に個人差がある。ぜひ、ばらつきがないように指導してほしい。

次年度に向けて、道徳教育や人権教育、子どもの安全に関わる防犯教室等の取り組みをさらに進めてほしい。

年度目標：健康・体力の保持増進

① 本年度の水泳指導において、5・6年生で25m以上泳ぐことのできる児童を80%以上、3・4年生では50%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

② 本年度の校内アンケート調査において、次の各項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する児童の割合を、全学年で昨年度より向上させる。

- ・ 「食後のみがきをきちんとしていますか」
- ・ 「給食を残さず食べていますか」

(カリキュラム改革関連)

○ 達成上については概ね妥当である。

水泳指導において、25m以上泳ぐことができる児童が、5・6年生で95.5%、3・4年で66%と目標を上回ったのは評価できる。また、歯みがきへの意欲を高め、よい歯の表彰をされたのは素晴らしいことである。給食指導も含め、食育への取り組みを今後も進めてほしい。

次年度に向けて、特に水泳指導においては、目標設定の見直しが行われるということで協議会としても期待している。

3. 今後の学校運営についての意見

学校ホームページを見ると、学校がいかに工夫して教育に取り組まれているかがよく分かる。広く情報公開することは大切なことである。次年度以降も、しっかりと取り組んでもらいたい。土曜参観も年6回になるということで、取り組み内容には期待している。

保護者や地域が学校を核としたコミュニティづくりを推進できるように、学校にご苦労はおかけするが努力してもらいたい。